

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員は、地域密着型サービスの意義や指定認知症共同生活介護の支援視点を理解しているものの、より具体的に心に浸透するような理念が確立されていない。また、職員や利用者や利用者家族が目にと留まる場所に掲示されていない。	皆の心に浸透し、支援の指針となる理念を確立することで、常にホームの中の目が留まる場所に掲示できる。	・開設1年を経過する。運営の基本方針が理念として理解される状況となっている。運営方針や指針を再度職員全体で話し合い(運営協力者を含む)1 尊厳、2 地域、3 生活面の要点項目を掲げ、皆が理解しやすく、心に浸透する理念を作り上げる。 ・職員や利用者家族・ボランティアの方の目が留まるところへの掲示。	6ヶ月
2	23	独自に「暮らしの情報シート」を作成し、入居事前面談で生活習慣や現在の様子記入を家族に依頼し、不足面をソフトのツールで補い聞き取りしていた。しかし、家族様から詳細の記入を頂けなかったり、現在の使用しているツールでは細かな気付きや情報の反映が難しい。	アセスメントシートの改革	・家族面会時等で知り得た情報や生活支援時の職員の気付き等を書き添えることができるアセスメントツール・書式を工夫する。(他のアセスメントツール方式等再度検討)	12ヶ月
3	34	消防計画に従い、通報訓練と消防署指導を受けて避難訓練を実施したが、まだ地域との協力体制が不十分であり築かれていない。	地域町内会との防災協定をつくる。	・運営推進会議において、町内会長より防災協定を作ってほしいとの要望が出ている。近隣施設や行政等に助言を仰ぎながら、協力関係の確立を図っていく。 ・町内会の防災訓練の参加(期日伝達・打ち合わせ) ・運営推進会議に避難訓練を抱き合わせての実施も考える。	6ヶ月
					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。